

## 令和元年度第4回番組審議会議事録

1. 開催年月日	令和元年 11月26日(火)
2. 開催場所	(株)フラワーコミュニティ放送 5F
3. 委員の出欠	<p>委員総数 6名</p> <p>参加委員数 5名</p> <p>出席委員の氏名 吉田武美、梶山立志、秋元一浩、時里康範、酒巻敬子</p> <p>放送事業者側出席者名 取締役放送局長 早野久則</p>
4. 議題及び議事の概要	<p>(1)報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「台風19号 特別番組」</li> <li>・放送日 10月12日(土) 9:00~25:00 (16時間)</li> <li>・パーソナリティ…伊藤 恵</li> <li>・情報収集…早野久則</li> <li>・鴻巣市役所危機管理課へ…山田照夫</li> </ul> <p>(2)審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記、番組について</li> </ul> <p>(3)その他事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回番組審議会の日程決定</li> </ul>
5. 審議内容・答申意見に対するの処置等	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回令和元年度第3回番組審議会議事録及び今回審議頂く番組資料を配布し確認後、審議に入りました。</li> </ul> <p>&lt;局長より&gt;</p> <p>2019年10月12日(土)に関東地方を縦断した台風19号について台風接近の前日11日より放送やSNS等で台風情報に加え、高崎線運転情報、市内店舗の開店情報、ガソリンスタンド情報等を発信しました。</p> <p>12日は午前9時より放送内容を全て台風情報に切り替え翌日13日午前1時まで16時間連続で生放送としました。また放送とほぼ同じ内容をTwitterでUPしました。</p> <p>Twitter投稿88に対してページ閲覧数73万4千(101ツイートに対し最大54781ビューが有りました。</p> <p>資料をご覧ください。</p> <p>&lt;次ページへ&gt;</p>

<前ページより>

放送終了後、リスナーより

「情報が少ない中、本当に助かった」

「正確で的確な情報ありがとう」

「どこよりも早い情報有難う」

「こちらが一番早く地元の情報がわかって本当に助かった」

「とても心強かった」

等の感謝を頂いています。

今回、T w i t t e rで放送とほぼ同じ内容をUPしたので後日、改めて鴻巣市民が求めた情報の内容がT w i t t e rのページビューから示されたと思います。

全体では73万4千ビューを超える数字となっているがこれは鴻巣市が毎年調査する「まちづくり市民アンケート」にある「フラワーラジオ認知率」が常に70%を超える高い数字が表れた結果であると思います。

今回、放送設備については瞬間停電にはUPS、停電については28kVのインバータ自家発電機により対応し、長期の運用については車のガソリンを給油して行う体制を準備していました。

但し、情報収集についてはNET環境を主なものとしたため、電源含め外部に頼ることになります。よって今回、得られた情報が全て局に入るとは限らないので長時間の停電についてはT w i t t e r発信についても同様に考えます。

この為、今回同様、鴻巣市役所危機管理課に局員を常駐させ逐一、直接局に伝える必要があります。尚、鴻巣市役所と局は700メートル（鴻巣駅とも700メートル）と近傍に有り東日本大震災時同様、人員の往復でも対応可能と考えます。

更に広域情報（鴻巣市内）については以前より情報収集・発信に協力頂いている鴻巣アマチュア無線連合会（竹村会長）の会員の局への常駐も打ち合わせられており、局員の市内巡回と合わせて放送・情報発信は期待できるものと考えます。

電源喪失となった場合でも市民の唯一の情報手段はフラワーラジオだけとなるので今後も鋭意、こうした中での放送継続の手段を常に考えることが肝要であると考えます。

<次ページへ>

	<p>&lt;前ページより&gt;</p> <p>&lt;審議委員より&gt;  消防団員として今回の出動時の招集通知受け時間とフラワーラジオの放送・ツイート時間が同じ時間で正確で早くというのが分かりました。  避難所では市役所職員が足りず又、対応も慣れていない様でした。やはり市役所職員の招集や人員配置は難しいと思いました。  今回の審議会の中で自助7割、共助2割。公助1割というのは本当に大事な事だと思います。自分たちで次の行動を考え動かないと駄目だと感じました。フラワーラジオの次の行動に移れる情報は大変、有用な情報だと思います。  今回、私たちの先代が言っていた「あそこは水がでるぞ」という情報は今、頂いたハザードマップを見ると合致しています。やはり貴重な体験談なのだと思います。  今回の特別番組の放送開始時間と終了時間はどう決めたのでしょうか</p> <p>&lt;局長より&gt;  前日より自主避難所の開設は決まっていたが受入開始は12日、午前10時でした。この事から放送開始は、それより1時間前の9時としました。  また、終了時間については、風雨共に弱まっていた但最终的には荒川・利根川の両河川上流域での緊急放流、及び荒川での観測点を秩父～桶川、利根川は栗橋前後を中心に情報収集を進め、緊急放流中止、及び鴻巣・栗橋より上流観測点を見つつ氾濫水位を下回り、また、各観測所の水位が下がったことを確認し終了と致しました。尚、放送後、深夜2時～5時ごろ荒川下流・支流の越辺川等の氾濫・越水があったようですが、そこまでは我々コミュニティの把握範囲以外となりますので他のCFMやNHKに任せる事となります。様々なご意見、ありがとうございました。今後共、宜しく願い致します。</p> <p>&lt;その他事項&gt;  特に無し</p> <p>・次回の番組審議会の日程決定  &lt;番組審議委員長より&gt;  2019年 12月の番組審議会を休会とし、次回の令和元年度第5回番組審議会を2020年 1月28日、午後18時から開催とすることを決議します。</p> <p>この番組審議会については、フラワーラジオの放送及びインターネットホームページを通じて公開されています。</p>
--	---

社 名	株式会社フラワーコミュニティ放送
-----	------------------